

新年のごあいさつ



福津市議会議長
江上 隆 行



福津市長
原 崎 智 仁

新

年おめでとうございませう。

昨年3月に二期目の任期が始まりました。市長は就任後、所信表明として、市民の皆さまへのお約束である「福津市まっすぐり指針」をお示しすることになっております。

一期目は「新しい福津の推進」などを掲げ「福津市」の認知度を上げることによって、市民サービスの向上などにつながる官民学とのパートナーシップの構築、農水産物・観光資源の商品価値の向上による市内経済の活性化などを目指しました。世界文化遺産への登録やSDGs 未来都市への選定による知名度の向上、「福津いいざい」の設立なども後押しとなり、現在、毎日のようにメディアに取り上げていただける観光都市となりつつあり、財政も健全といえる状況です。

二期目では、外への発信、財政力強化を継続しつつ、市政の内側、足元を強化することに重点を置き、本市の課題解決を最優先に行ってまいります。

まず、昨年のワクチン接種予約に関する反省を、今後のコロナ対策に生かしていくこと、国・県に連携し、オミクロン株などの市中感染を広げない対策に全力を尽くします。感染した方やそのご家族、医療に従事しておられる方への差別や偏見などがないよう、引き続きご配慮をお願いいたします。

また、一期目に「安全な建設地の選定」で難航した学校新設は、教育環境や受検環境などへの配慮を踏まえ、昨年12月に市と教育委員会の間で方針を決めました。今後、市民や議会の皆さまのご理解をいただきながら、早急な教育環境の改善を進めてまいりたいと存じます。

さらに、地域だけでは解決が難しい問題がある場合には、職員が積極的に参画できる体制を整えたいと考えています。そのためにも、市の業務の効率化とDX(※1)を推進してまいります。

本年も何卒、よろしくお願い申し上げます。

明

けましておめでとうございませう。

さて、ここ2年、市議会では新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、定例会で主に市長が提出する議案に対し、議員が「市民にとってどうなのか」という視点と議案の可否を最後に決めるのは議会であるとの矜持を携え、チェック機能を発揮し、是々非々で審議を尽くしています。

また、一般質問では議員が市長と建設的な政策論議を展開しており、本年も市議会に熱い視線を注いでください。

ところで、本市では人口増で税収が増えるなど、一見、市に勢いがあるように見えます。ただ将来、人口が減少へ向かうことを視野に入れ、財政規律を守り、人口増に対応したインフラ整備とコロナ禍に対応したDX(※1)やカーボンニュートラル(※2)などへの取り組みも求められます。

そして、真剣かつ本格的な行財政改革を進めていく起点の年になると考えます。

なお、国はコロナ対策などで赤字国債を多発しており、今後、国の財政再建が大きな課題となり、国の地方財政計画に基づく地方交付税の減少など、地方の財源が厳しさを増すことを覚悟しておく必要があります。議会は市の財政状況を見極めながら、各議案への審議を尽くし、市民の皆様の負託に応えなければなりません。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が幸多き、良い年となりますことをこころ祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

(※1)DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術の活躍によって、あらゆる面で人々の生活をより良い方向に変化させる概念のこと

(※2)カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、実質ゼロにする社会を実現すること